

信州大学・長野県経営者協会
防災市民シンポジウム

「必ずやってくる大震災に備えて」

～松代群発地震から50年～

平成27年

6月28日(日)

13:30~17:00

会場:信州大学国際科学イノベーションセンター

長野(工学)キャンパス(長野県長野市若里4-17-1)

松代付近で昭和40年から約5年半も続いた、世界的にも稀な長期間にわたる群発地震から50年、最近では、長野県中部地震、長野県北部地震、そして御嶽山噴火など、未曾有の自然災害が多発し、自然の猛威に対する備えの大切さが叫ばれています。信州大学は、この4月に地域防災減災センターを設立、全学をあげて防災・減災に取り組みます。この市民シンポジウムでは、地震学の権威である石橋克彦氏の特別講演と、学、官、民の各界のパネリストにより、災害に対する防災・減災対策、日頃の備えなどについて広く知識を深めていただきます。

白馬村塩島の村道
大塚 勉教授(信州大学)
長野県神城断層地震(2014年11月22日、M6.7)
緊急調査報告(第3報)から

入場無料
※事前申込必要

対象:一般市民、地方自治体・地区等の防災担当者等
地震等の防災・減災に関心のある方

(地球科学者 神戸大学名誉教授)

地震学の権威、石橋克彦氏による
基調講演と、学・官・民による
パネルディスカッション!

申込・お問い合わせ先

信州大学地域防災減災センター

〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL:0263-37-2064 FAX:0263-37-3049

E-mail:d_map@shinshu-u.ac.jp

主催:信州大学、(一社)長野県経営者協会

後援:長野県、長野市、白馬村、栄村、小谷村、松本市、長野市教育委員会

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 信越支部 長野県協議会

公益社団法人 日本地すべり学会中部支部

特別講演



石橋 克彦 氏

1944年生まれ、歴史地震学者。神戸大学名誉教授。著書に「大地動乱の時代・地震学者は警告する」(1994年、岩波新書)、「阪神・淡路大震災の教訓」(1997年、岩波ブックレット)、「原発を終わらせる」(2011年、岩波新書)、「原発震災警鐘の軌跡」(2012年、七つ森書館)などがある。

現在、社会に最も影響力を持つ地震学者の一人。

スケジュール

12:30- 受付

13:30-13:40 開会

13:40-15:10 第1部
- 特別講演 -

15:30-17:00 第2部
- パネルディスカッション -

パネルディスカッション

コーディネーター

菊池 聡 氏

信州大学 地域防災減災センター長、人文学部教授

パネリスト

石橋 克彦 氏

神戸大学 名誉教授

赤羽 貞幸 氏

信州大学 理事

原田 和彦 氏

長野市立博物館学芸員

笹本 正治 氏

信州大学 副学長(広報学術情報担当)
地域戦略センター長、人文学部教授

野池 明登 氏

長野県危機管理監兼危機管理部長

【参加申込方法】

以下の記入欄に必要事項をご記入のうえ、①～③のいずれかの方法でお申込ください。

①FAX: 0263-37-3049 ②E-mail: d_map@shinshu-u.ac.jp ③電話: 0263-37-2064

信州大学地域防災減災センター 行

「市民シンポジウム」参加申込書

平成 27 年 月 日

お名前	ご職業	ご連絡先

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの登録情報としてのみ利用し、他の用途には一切使用しません。